

【1】教育方針と重点目標

教育方針	民主的な社会の進展に貢献できる健全な人間の育成を目指す。
長期的目標	上記実現のため、生徒に「つけるべき力」は次の通りとする。 1 自分から目的を設定し、積極的に行動していく「主体性」 2 社会の一員としての自覚と他者の立場を尊重しよりよい人間関係を形成する「社会力」
重点目標	1 生活指導の充実 2 学習活動の充実 3 特別活動の充実 4 開かれた学校づくり ※様々な場面において、いじめ・体罰のない、安心・安全な学校作りをさらに推進していく。

【2】今年度の重点活動

重点目標	具体的目標	実施内容	年間総括
1 生活指導の充実	①安心して学べる学校づくり	○いじめ暴力を許さない人権感覚の育成 ○相談室体制の充実	・いじめ対策では全校アンケートを実施し、その把握に努めた。大きな案件はなかったが、こういった機会を通じて、いじめを許さない土壌作りを更に進めたい。 ・係をはじめ養護教諭や担任を通じての相談体制が機能している。カウンセリング需要は引き続き多いと思われる。
	②交通ルール・マナーの向上	○交通安全教育の強化	・バイク、自転車の交通事故は少なからず起こっている。引き続き、年度当初からの安全意識を喚起したい。
	③基本的な生活習慣の確立	○服装・頭髪指導、時間厳守指導、清掃指導の徹底 ○携帯電話マナーの徹底 ○携帯・ネットの危険性に対する指導	・全校一斉時期の頭髪とピアスの検査を各学期ごとに行った。微妙な部分の生徒への指導は難しいが引き続き改善に向けた指導を進めたい。 ・全校生徒対象にSNS関連の講演会を実施した。今後も継続的に行っていくことが重要だと思われる。
2 学習活動の充実	①学力の定着	○家庭学習の習慣化のための指導強化 ○外部模試、検定の活用	・定期考査1週間前に学年ごとの考査範囲を配布したり、1、2学年では学習計画を立て毎日の学習時間を記入させたりするなど、計画的な学習を促した。放課後クラブ単位で学習する姿も見られ、一定の効果を上げることが出来た。 ・定期考査前以外での家庭学習については、本校の重要課題である。 ・1、2学年では、全員模試に加え分野ごとに希望者模試を実施し、日々の学習意欲向上への足がかりとした。 ・3学年では定期的にベネッセ模試や河合塾全統模試を実施し、全国レベルの情報を得ながら進路実現へと向けて学習を進めた。 ・英検と漢検を全生徒へ周知し受験を促すとともに、事前対策指導を丁寧に行い合格率の上昇を目指した。
	②進路指導の充実	○小諸ふれあい講座、職場体験などへの積極的参加の促進 ○現在の入試状況、社会情勢に関して、生徒・保護者に最新の情報を提供	・1学年では、職場体験および事前事後学習を通して地域で働く事の意義や高校と社会とのつながりを知り、今やるべきことへの意識向上を図った。 ・2学年では、夢ナビ、大学出前講座、ふれあい講座Ⅱ等を通して、自らの適性を考え進路の幅を広げることが出来た。 ・生徒が利用しやすいよう進路室内を整備し、最新の情報を提供できるよう環境を整えた。 ・生徒、職員、保護者を対象に、県内大学研究会を実施し、公立化に伴う現在の入試状況や学校の特色について情報を収集し、進路選択への一助とした。

	③ 学習指導の研究と実践	○学習に関する校内研修会の実施 ○研究授業の実施 ○生徒の力をさらに伸ばす授業形態の実践に向けた研究	・授業公開や研究授業のみならず、職員間で積極的な授業見学を心がけた。 ・ICT 機器導入に伴い、教員間で情報を共有しながらプロジェクト等を用いた授業研究が進められた。校内研修も実施し、多くの教科で日常的に ICT 機器を用いた授業が展開されている。
3 特別 活動 の 充実	① 生徒会活動の充実	○生徒会活動を通じた人間形成、集団づくり	・各部署での企画や取り組みの中で活発な活動が展開された。文化祭においてはより多くの生徒が参加を出来る企画を立案し、運営することが出来た。来年度に向けて、日常の委員会活動を充実させることが課題である。
	② クラブ活動の充実	○クラブ活動を通じた人間形成、集団づくり ○目標達成に向けての努力過程の重視	・運動部長を中心に年度当初に各部の活動目標を設定し、共有し合うことが出来た。 ・多くの部が明確な目標を設定してその達成に向けた前向きな活動が行われた。その結果、上級大会へ駒を進めた団体も多かった。 ・人間形成や集団内でのコミュニケーション力が構成された。
	③ HR活動の充実	○HR活動を通じた人間形成、集団づくり ○LHRの充実した運営	・LHRの計画を4月に立案し、おおむね計画通り実施できた。2学年は10月の修学旅行に向けて、LHRでいろいろな事前学習をクラス・学年で実施して有意義なものとなった。
4 開 か れ た 学 校 づ く り	① 開かれた学校づくり	○PTA活動の充実 ○学校評議員会の充実 ○三者協議会の充実 ○生徒・保護者アンケートの実施	・PTA 活動については、環境整備事業では多くの会員、生徒、同窓会役員にも参加いただいた。また、地区 PTA 総会への参加率も少しずつあがっている。 ・12月に生徒及び保護者アンケートを実施し、その結果を職員全体で共有し、活かしている。
	② 小諸高校からの情報発信	○ホームページの周知と充実 ○学年・学級通信、生徒指導通信、「小諸高校ニュース」の充実	・「校長通信」と「小諸高校ニュース」をホームページに適宜アップし、また普通科及び音楽科ともにホームページの更新を心がけている。 ・「小諸高校の本」・「チラシ」・「PV(プロモーションビデオ)」を作成し、県内の中学校に配付し、本校の良さをアピールしている。
	③ 外部との連携	○市内各校・地域諸団体と連携を推進 ○外部向け公開授業の実施	・7月に小諸高校、小諸商業高校、小諸市の3者で連携した「小諸未来義塾」を実施し、小諸駅周辺の活性化についてフィールドワークを行い、討議した。 ・10月に小諸東中学と浅間中学で出前授業を実施した。 ・1月に小諸商業高校のスマイルレストランに生徒会執行部と音楽科が参加し交流を深めた。 ・春と秋の交通安全週間では、生徒会及び部活動単位で小諸警察署の方々と一緒に街頭に立ち交通安全を呼びかけた。